

アイヌコミュニティにおける農業

アイヌの生活は伝統的に狩猟、漁労、および狩猟採集を中心としていましたが、作物の栽培も行っていました。気候が稲作に適していなかったため、アイヌはヒエなどの硬い穀物を中心に栽培していました。

各世帯は通常、小さな耕作地を持ち、女性たちが春の種まきから秋の収穫まで、大半の農作業を担っていました。鉄製の道具に加え、貝殻を研いで作った刃を使って穀物の穂を刈り取っていました。主要作物は、耐寒性があり生育期間の短い粟でした。アイヌの家族は豆類、カブも栽培し、またベリー類やでんぷん質が豊富なユリ根なども採集していました。